

令和7年度 第1回 印西市市民参加推進委員会会議録

- 1 開催日時 令和7年8月6日（水） 午後1時30分～3時15分
- 2 開催会場 印西市役所3階 大会議室
- 3 出席者 榊原賢一委員（会長）、中島信行委員、吉田浩一委員、高城國司委員、小出正史委員、清宮絹代委員、小山尚子委員
- 4 欠席者 0名
- 5 事務局 小作課長、金子係長、寺本、齋藤
- 6 傍聴者 0名
7. 議題 (1) 令和6年度印西市市民参加実施結果の報告について
(2) 令和7年度市民参加手続の実施予定について
(3) その他
8. 会議資料 資料1 条文の構成と概要・市民参加条例及び施行規則
当日資料2 印西市市民参加実施結果報告書
資料3-1 令和6年度市民参加手続（1 市民意向調査、2 市民説明会、3 市民意見公募、4 市民会議）の実施状況
当日資料3-2 令和6年度市民参加手続（5 審議会等）運営状況
資料4 令和7年度市民参加手続の実施予定
当日資料4 令和7年度第1回市民参加推進委員会事前質問

9. 議事

議題（1）令和6年度印西市市民参加実施結果の報告について

事務局 当日資料2、印西市市民参加実施結果報告書について説明

資料3-1、令和6年度市民参加手続（1 市民意向調査、2 市民説明会、3 市民意見公募、4 市民会議）の実施状況について説明。

当日資料3-2、令和6年度市民参加手続（5 審議会等）運営状況について説明。

当日資料4、令和7年度第1回市民参加推進委員会事前質問に基づき、質問に対する回答を共有。

委員 当日資料4番号2、審議会における女性比率の割合について、女性委員登用の働きかけを行っているとのことだが、担当課は具体的にどのような努力、行動をしているか。また、女性3割ではなく、性の一方が3割を下回らないようにすればよいのではないか。一方の性というように条例を改正してほしい。

事務局 公募委員に関して、制度としては手上げ制であり、小論文で選考していることから女性を優先して委員に選任することは難しいが、公募委員や有識者を選考・選出する際には、担当課において女性比率に対する配慮はしている。

条例改正については、国の方針も踏まえ、表現や割合について必要に応じて検討していきたい。

委 員 当日資料３－２、任期に関連して、お勤めされている方が参加しやすいように４月からの任用がよいのではないかと。また、委員募集の際に、会議は原則として、〇曜日の〇時に開催予定というのを出せばよいのではないかと。

委 員 資料３－１番号５、市民参加手続きの実施に際し工夫したことについて、ワークショップだと市民参加達成率が高くなるのではないかと。ワークショップは小中高の若者に対して１回しか実施していない。市民に密着したものはワークショップのように時間をかけて話し合うべきではないかと。

委 員 市政とか行政に関して、ホームページを見ても難しすぎて理解ができない、意見を言ってみたいけどどういうことをするのかわからないといった意見も多いので、直接会って説明を受けられるような機会があると参加しやすくなるのではないかと。

議題（２）令和７年度市民参加手続の実施予定について

事務局 資料４、令和７年度市民参加手続の実施予定について説明。

当日資料４、令和７年度第１回市民参加推進委員会事前質問に基づき、質問に対する回答を共有。

委 員 資料４番号１・２、総合計画について、まちづくりの基本ですから、複数の市民参加手続きを行った方がいい。市民の意見をたくさん聞くという意味では、市民にはもちろん聞くし、関係市民活動団体に意見を聞くことを積極的にやってはどうかと。

事務局 双方向のコミュニケーションとして、紙だけのパブコメではなく電子申請で随時意見を募るといった手法をやっているが、新たな取り組みとか広く意見を取り入れていける場を設けていきたい。

委 員 パブリックコメントは、行政機関が命令等を定める時に市民の意見を聞くものである。ある程度はどういう理由で意見を取り入れられないか、取り入れられたのかの説明が必要である。提案しても説明がないと不信感に繋がるのではないかと。出された意見は丁寧に回答する努力をしてほしい。

事務局 市のホームページにパブリックコメントの結果ということで、どのような意見が

あったか、それに対しての市の対応について掲載している。

委 員 パブリックコメントで意見が採用されない時の理由が知りたい。

事務局 いただいた意見については議論して一つの結論は出している。

委 員 データセンターの建設について、建設できない地区というのを決めるために、市民の意見を聞くといった制度があれば良いのではないかな。

事務局 現行の制度上は建てることができてしまうが、今後の駅周辺のまちづくり等については市として検討を進めていくことになっている。

委 員 総合計画はとても大事である。ニュータウン地区の市街化区域には何を建てても良いとなっている。宅地であっても建てないことを決めることも必要。40戸連単といって、市街化調整区域であっても、市街化区域から1kmの範囲にあればいくらかでも建てられる。畑がつぶれ、住宅街ができることを許していいのか。総合計画については色々な人の意見を聞いてほしい。

委 員 基本計画のところでは縛りをきちんとしてほしい。市民の声を反映させてほしい。

事務局 総合計画では、細かい内容を明記できないが、まちづくりの方向性については書き込むことはできると思う。市としては、学校の問題やインフラの問題等、課題としては認識しているので、市の動向を見ていただいて問題点が見えてきたら御意見をいただきたい。

委 員 市民活動推進課が、市の広報紙でパブリックコメントがどのようなものか、わかりやすく周知をしてほしい。

事務局 制度の理解が難しく、行政の計画に興味を持っている人が多くはないことは問題として挙がっている。制度周知については課内で検討していきたい。

委 員 ホームページで周知することは大事であるが、現在のホームページでは調べたいことに簡単にはたどり着けないので、市民の皆さんが見やすく分かりやすいホームページにして周知してほしい。

事務局 ホームページは来年度リニューアル予定である。

- 委 員 当日資料３－２、審議会について、５７もの審議会が存在しているが、傍聴人が少ない。しかし、興味がある人がたくさんいるはずなので審議会開催の公表は可能なのか。
- 事務局 開催案内については、ホームページや行政資料コーナーで周知している。しかし、どのような審議会があるのか理解している人は少ないと思われる。市でどのようなことをやっているかの周知に努めていきたい。
- 委 員 月毎の行事予定に審議会開催日が載っていれば参加しやすいので、導入を工夫されてはどうか。
- 事務局 ホームページにはイベントカレンダーがあり、イベントの開催予定が入っている。イベントカレンダーの積極的な利用について、担当課からも各課へ呼び掛けを行っている。
- 委 員 この審議会の目的が市民参加しやすいように考えて市長に提案するとある。各課に伝えるだけではなく、皆さんの意見をまとめて市長に出したら良い。
- 委 員 女性の参加について女性が無関心という訳ではない。専門家は女性から選んではどうか。市は、審議会の会長や委員長が男性では無ければいけないという考えがまだあるのかもしれないので、市の考え方を変えてほしい。若者を積極的に入れた方が良いので、大学生や大学院生を集める工夫をしたほうが良い。そのためには土日開催を考えてほしい。
- スクリレは有効である。スクリレ配信で公募を行うことも検討して欲しい。市民団体に呼びかけ、アンケート等で意見を聞くことを検討してほしい。行政の内容を市が知らせたいもの、市民に直接関係があるものについては、ワークショップ・町内会で話し合いをすることが必要ではないか。
- 市民団体の長は女性が多く活躍しているので、そこから積極的に推薦すれば良いのではないか。
- 委 員 市民参加推進委員会では、結構議論してきているがそこで終わってしまう。本当だったら、そこで出た意見は次の会議で詰めていく必要があり、市長に具体的な取り組みはどうかと提案をしていく。法律的に言えば市長から諮問を受けて答申したという形で、本当ならば本日の会議資料も諮問に該当する。市民の声に耳を傾ける印西市をPRしてほしい。

事務局 市民参加の形骸化が懸念されている。この何年かで市民参加の在り方を市で考えていき、新たな市民参加をお示ししていきたい。

委 員 この委員会はまちづくりの基本である。まちづくりをするうえで、この委員会にもっと力をいれてやっていただきたい。

委 員 市民会議は無報酬であるが、若い人たちには、報酬が出るからといった軽い気持ちで参加してもらっても良いと思うので、市民会議に報酬を出すというように条例を変更してほしい。

委 員 市の計画を若者に知ってもらうには、お堅い言葉が書いてある文書ではなく、高校生のところに出向いてまちづくりの計画を説明し、意見を聞くのがいいのではないか。それによって、子が家にその話題を持ち帰り、親に話すことで親世代の関心に繋がるのではないか。

議題（３）その他

事務局 事務連絡として、市民提案手続きがあった際には、必要に応じて臨時で会議を開催する場合があることを説明。

令和７年８月６日に行われた印西市市民参加推進委員会の会議録は、事実と相違ないので、これを承認する。

令和７年８月２９日

会議録署名委員 会長 榊原 賢一